

幼稚園

英語が楽しく自然に身に付く、「ハローインググリッシュ」。

常磐大学幼稚園では、小学校の英語教育とスムーズな連携を図ることを目的に、年長組・年中組の園児を対象として、英語を母国語とする先生に学ぶ教室「ハローインググリッシュ」を行っています。教えるのは、常磐大学国際学部のT・D・トゥール先生。とても優しくユーモアのある先生です。歌を歌ったりゲームを楽しんだり、絵本を使いながら先生とお話をしたりと、いつもの遊びを日本語から英語に置き換えて、園児たちは「英語って楽しい！」と実感しています。また、先生の独自の教え方も、園児たちが飽きずに英語を理解できるポイントになっています。その様子を紹介します。



トゥール先生が教室の扉を開くと、園児たちから歓声が上がります。「ハローティーチャー！」教室では日本語を使わず、40分間、全て英語で行われます。英語の歌に合わせたダンスからスタートし、数字の書き方や動物の名前当て、図形描きゲームなどを行います。メリハリのある進行に、みんなが飽きずに集中して取り組んでいます。一つの単語をそれぞれのゲームに関連付けるのが、トゥール先生の教え方の特長です。例えば数字の書き方は「アップ」「ダウン」「レフト」「ライト」「ラウンド」の5つの単語を使って、先生が体を使って数字を描き、園児たちは英語で数字を答えます。さらにその5つの単語を使って、丸や多角形などの図形の描き方と名前を英語で学んでいきます。また、色を塗るときにも「ブルー」という単語を覚えるために「空は何色？」という質問から始めるなど、あらゆるところで関連付けの工夫が凝らされています。最初は意味を理解できなくても、毎回反復していくことで、園児たちの語彙力はぐんぐん伸びています。



色と形をすべて英語で理解します。



互いに教え合う場面も。



一人ひとりを丁寧に見てくれます。



最後は英語で元気に合唱。



ゲームのように体で覚えていきます。



多種多様な教材で学びます。

Interview

英語を楽しむ心を育んでほしい。



年長組
担任 江幡 裕子

回を重ねるごとに、理解して行動することができるようになっていくのを感じます。発音の間違いを恐れず、また先生も何でも受け止めて下さるので、どんな英語への親しみや楽しさが増しているようです。先生が作り出す楽しく、自由に考えさせる雰囲気から、園児たちには分からないところを互いに教え合う姿が見られるようになりました。体を使って覚えたり、教材にも工夫がたくさん凝らされていて、私たち教員も学ぶことが多いです。保護者の方からもとても好意的な声をいただいています。私たちが一番大切にしているのは、語彙を増やすこと以上に、英語を楽しむ心を育てることです。将来、小学校にあがってからの英語も、今の楽しいと思う気持ちを忘れず、学んでいってほしいと思います。